

この教本で使われているラスゲアード奏法の基礎練習法です。伴奏においてラスゲアード演奏はかなりのスピードを必要とする時があるので、速いスピードでも弾けるように日々練習しましょう。

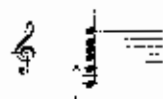
以下の各ラスゲアードの練習において、左手はFのコードフォームを押しさえ、右手が1セット終わるごとに左手は1フレットずつ和音を移動させましょう。

## 1) i 指によるラスゲアード・セコ

Rasgueados utilizando solamente el dedo Índice

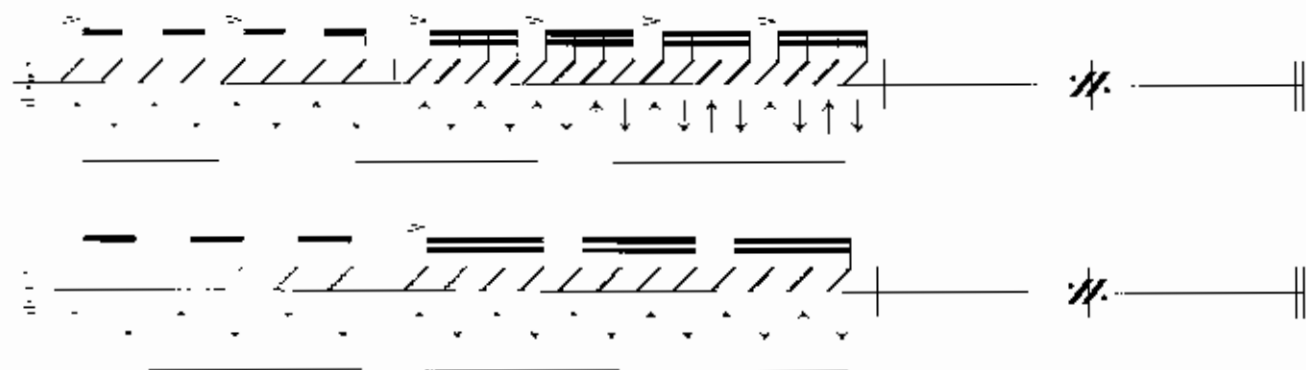
### a) i 指によるラスゲアード・セコ (ダウン・ストローク)

p 指を⑥弦上、あるいは表面板上に軽く触れて支え、i 指を手の内側に軽く握った状態から爪側で⑥から①弦の方向にすばやくはじく



### b) i 指によるラスゲアード・セコ (アップ・ストローク)

i 指の手のひら側で①~③弦あたりまですばやく掻き上げる。



### c) コーデ

このコードを使ったゴルベ奏法

通常ダウン・セコをすると同時にi 指の爪でゴルベ板を叩く。

アクセント記号の箇所をゴルベ奏法にして練習してみましょう。



## 2) p 指によるラスゲアード・セコ

Rasgueados utilizando solamente el dedo Pulgar

### a) p 指によるラスゲアード・セコ (ダウン・ストローク)

p 指をその和音の最低弦に置き、すばやく高音弦に向けて弾きおろす。



### b) p 指によるラスゲアード・セコ (アップ・ストローク)

p 指の爪側で①~⑥弦に向けてすばやく掻き上げる。

